

— 結婚式の司会者 —

高3 保護者

「新郎・新婦のご入場です！」

厳粛な雰囲気の中、
一筋のスポットライトが入口を照らします。
扉が開いた向こうには、タキシード姿の新郎と
純白のウエディングドレスに身を包んだ新婦が、
少し緊張した面持ちで浮かび上がります…
一斉に華やかなお祝いの楽曲が流れ、
皆の拍手の中、
新しい人生の第一歩を歩み始めます。

あなたは、どんな『結婚式』をしたいですか？

二人の人間もしくは二つの家族が
婚姻(結婚)という形式を認証する儀式を
『結婚式』と呼びますが、
法律上の手続きで婚姻が成立します。
ですから、『結婚式』を行う、行わないは
二人の自由です。

『結婚式』は、二人が結婚したことの報告と
「新しい道を歩み始めた二人をこれからも
応援してください」
という気持ちを込めて行われます。

私の仕事は、その結婚式の司会をすることです。
結婚式の司会者は、二人(新郎・新婦)をはじめ、
家族や親族、お友達など
会場にいる全ての方々の笑顔があふれ、
幸せな気持ちにする
セレモニー演出の進行役です。



たくさんのドラマ(物語)があります

司会をしているといろいろなことに会います。
式寸前に結婚指輪を持ってくるのを忘れたことに気づ
いた二人が喧嘩を始めました。スタッフから「代わりの
指輪をお貸しするので式を進めましょう」の言葉も耳に
入らないほどの言い争いです。結局、弟さんが自宅まで
取りに帰り30分遅れになりましたが、無事式を行うこと
ができました。

ある時は、再婚のカップルが「前妻の元にいる子供
にも祝ってほしい」と招待状を送りました。2時間空席の
まま、閉宴会際の誰もがあきらめたその時、制服姿の
高校生の息子さんが「来るかどうか迷いましたが、僕は
お祝いに来ました」と駆けつけた時は、拍手喝采となり
映画のワンシーンのようでした。

このように、予測外のことも起こりますが、お祝いの
席にふさわしいフォローで切り抜けていく臨機応変な
対応が求められます。



仕事の厳しさと喜び

言葉は、一旦口から発するともとは戻せません。
結婚式・披露宴のスピーチでは、縁起が悪いので使って
はいけない「忌み言葉(いみことば)」というものがあ
り、言葉を置き換えます。

「ケーキを切る」⇒「ケーキにナイフを入れる」
「鏡割り」⇒「鏡開き」
「披露宴を終わる」⇒「披露宴をお開き(お披露喜)にする」

最近ではこのような言葉を以前ほど気にする方が
少なくなりましたが、出来る限り避けた方が良いでしょう。

私は、打ち合わせの時に、新郎新婦の良いところを
見つけて、まず二人を好きになります。大好きな友達の
披露宴に参加する気持ちで心をこめてお祝いし、プロ
として参列の皆さんが安心して楽しく過ごしてもらえ
るよう些細なミスもないよう心がけています。司会者
にとっては何百組中の一組ですが、本人やご家族にとっ
ては、生涯で一度の大切な一日ですから。

お二人を始め参列のお客様に喜んでいただくことが
一番の大きな喜びですが、ピアノ伴奏や音響さんと
ピッタリと呼吸が合った時、1分のくらくらもなく予定通りに

進行が進んだ時など、皆で作らあげた達成感で幸福な
気持ちでいっぱいになります。例えて言うなら、体育祭や
文化祭などクラス全員がまとまった時の達成感とでも
いうのでしょうか。

人生で最高に輝くワンシーンの一つのお手伝い
ができる仕事です。喜んでいただけて、なおかつ自分自身
も幸せになれる魅力ある仕事だと思っています。



どうすればなれるの？

特別な資格は必要ありません。司会者養成所・アナ
ウンスクールなどの司会者のコース・司会者派遣事務所
主催のスクールなど学ぶ方法はいろいろあります。スク
ールで1年ほど発声練習(腹式呼吸)、発音、早口言葉、
ナレーションを覚える勉強をしながら、先輩司会者の
現場の隅で見学して覚えたり、アシスタントについて
身をもって学んでいきます。ある意味、師弟制度的なと
ころも残っているといえます。

最後にオーディションがあり合格した人の多くは、タ
レント事務所・イベント事務所・プロダクションやホテ
ル・結婚式場などに所属し、そこから仕事が割り振られ
る仕組みです。もちろん、フリーで活躍する司会者や昔
テレビのアナウンサーだった、ラジオのDJだったとい
う先輩も多くいらっしゃいます。



どのような人が適している？

私は、今から考えると小学校の時から朗読は唯一
先生に褒めていただける得意分野でした。また、学生時
代にクラス代表や生徒会など人前で話す機会が多かった
ことも、この仕事を選んだ背景かもしれません。確かに、
司会者の仲間には、恥ずかしがり屋さんはいませんが、
自己主張の強過ぎる人もおりません。なぜなら、この
仕事は華やかに見えますが、あくまで主役は結婚した
二人(新郎新婦)であり、司会者はその主役の人生最
高の一日を演出する黒子ですから。

また、コミュニケーション能力も必要です。『披露宴』
を進めるためには、幾人もの重要なスタッフがいま
す。会場責任者・コーディネーター・ピアノ演奏者・カメラマン・



美しい声より音の無い時間が大切？

あなたは、テレビなどで司会者を観る機会がある
と思いますが、はたして司会者は一様に良い声でし
ょうか？マイクに通じやすい声、聞き取りやすい声、
心地よい声は有利ですが、これは発声練習やボイス
トレーニングで訓練することができます。もちろん、
声の高低、強弱も大切です。

その中でも、司会者には何も発しない時間『間(ま)』
が一番のポイントとなります。司会に限らず漫才や俳
優など名人と呼ばれる方は、会話の中に天性の素晴
らしい『間』があります。たて板に水のような流暢な
話し方より、『間』を取ることで、より聞き易く、
説得力をもって相手の耳に届きます。わずか0.5秒
にも満たない『間』を意識して話してみてください。
あなたの言いたいことが、より相手に伝わることに
気づくでしょう。



より活躍の場を広げて

人生最大の晴れ舞台のお手伝いをする「結婚式の
司会」は、皆さんに喜んでいただけるやりがいのある
仕事だと思っています。若いあなた方は、外国のお客
様がいらっしゃる結婚式やイベントの英語司会、企
業の式典の司会、ファッションショー・映画発表会
見の司会など、より活躍の場を広げて目指してみ
てはいかがでしょうか。

